

国際交流基金助成事業報告

薬学科 4年次生 Y.M

1. はじめに

私は国際交流基金の助成を受け、8月21日から8月28日に行われたバンクーバーサマープログラムに参加いたしました。このプログラムではネイティブの先生による医療英語レッスンのほか、現地のクリニックやドラッグストアの見学、現地で働く医療関係者の方々からお話を聞かせていただくなど貴重な経験をさせていただきました。

このプログラムに参加するにあたって、日本とカナダとの医療制度の違いや勤務環境の違いを知り、またそれに伴うメリット・デメリットについて考えたいと思っていましたので、非常に興味深い内容で大変有意義な8日間でした。

2. 医療施設見学

バンクーバー周辺にあるクリニックやドラッグストアを見学させていただき、またその施設の方からお話を聞いてカナダと日本では医療制度が大きく異なることに驚きました。最も驚いたのは、カナダでは直接専門医に診てもらうことができないということです。カナダではまず、かかりつけ医もしくはウォークインクリニックと呼ばれる病院にかかり、その後日本でいう紹介状のようなものを発行してもらうことで専門医にかかることができます。そのため、ウォークインクリニックや救急病院は常に混雑しており、予約が取れないことも多く、診察を受けるのに3時間くらいかかるとのことでした。

その他にも日本とカナダでは医療における保険制度が異なります。日本では患者が3割負担している医療費ですが、カナダでは患者による負担額は無いということでした。様々な医療制度の違いを現地のクリニックの様子などを見学しながら知ることができ、とても興味深かったです。

3. 語学学習

バンクーバーにある Cornerstone International Community College of Canada (CICCC) にて医療英語レッスンを受けました。症状や疾患などの単語学習や、グループワークを行いました。スクリプトを見ての意見交換や、発表など様々な機会を通してより実践的な英語を学ぶことができたと思います。

4. ホームステイ

私は、学校から1時間30分ほどかかるサレーというところにステイしていました。登下校にはバスと電車を使うのですが、バスの乗り方が日本と少し違い、戸惑いました。カナダは夏でも朝は少し肌寒く、昼でも湿度が低い分日本よりもかなり過ごしやすかったです。

学校帰りには友達とスタンレーパークやギヤスタウン、イングリッシュベイなど様々なところを観光したり、人気なレストランでご飯を食べたりしてとても楽しむことができました。また、ホストファミリーにはとても親切にいただき、その日あったことを話しながらご飯を一緒に食べるなど、快適で楽しい時間を過ごすことができました。



5. おわりに

今回このプログラムに参加して、渡航前に知りたいと思っていたカナダの医療制度について実際に働いている方から聞き、また施設やその様子を実際に見ることができました。カナダでは医療費がかからない代わりに実際に治療を受けるのに時間がかかってしまう、最初から専門医にかかることができないなどという問題が発生しており、私としては医療費がかかっても日本のように専門医に直接かかることができる環境の方がいいと思いました。

これから薬学の知識を活かしてどのような職種に就くか考えるうえで、今回得た知識から、日本だけでなく世界も視野に入れながら自分の将来を決めていけたらと思います。